

カトリック河原町教会だより

2024年3・4月

教皇フランシスコ 2023年8月27日「お告げの祈り」での言葉(抜粋)

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、こんにちは。

今日の福音箇所(マタイ 16・13—20 参照)で、イエスは弟子たちに素晴らしい問いかけをなさいます。「人々は、人の子のことを何者だと言っているか？」(同 13 節)。これはわたしたちも自問すべき問いです。人々はイエスについて何と言っているのでしょうか？概して、良いことが言われるでしょう。多くの方は、イエスを偉大な師として、特別な人、つまり正しく、公正で、一貫性があり、勇敢な人として見ています。けれども、イエスがどのような人かを理解するのに、これで十分といえるのでしょうか？またそれ以上に、イエスにとってこれだけで十分でしょうか？そうではありません。イエスが単に過去の人物だとしたら——、イエスは単に過ぎ去った時間の良い思い出となってしまおうでしょう。しかし、イエスにとって、それは好ましくありません。そのため、そのすぐ後に、主は弟子たちに、決定的な質問をなさいます。「それでは、あなたがたは——あなたは——わたしを何者だと言うのか？」(同 15 参照)。今、あなたにとって、わたしは何者なのか。イエスは過去の重要人物になりたいとは思われません。現在、今この時、あなたにとって大切な人物でありたいと望まれています。遠く離れた所にいる預言者ではなく、イエスは、わたしたちのそばにおられる神でありたいと願われているのです！

兄弟姉妹の皆さん、キリストは過去の記憶ではありません。今もおられる神です。もし、キリストが単に歴史上の人物なら、この現代で、キリストに倣うことは不可能でしょう。時の大きな隔たりに直面したり、何よりも、キリストのととても高く、登ることができない山のような模範を目の当たりにしたりするでしょう。その山に登りたいのに、登るための能力も必要な手段もないのです。イエスは教会に生きておられ、この世に生きておられます。そしてわたしたちに寄り添われ、わたしたちのそばにいてくださり、みことばをかけてくださり、恵みを与えてくださいます。亡くなったヒーローではなく、生ける神の子が人となられ、わたしたちの旅路で喜びと苦勞とともにするために来られるのです。ですから、時々キリスト者の人生の山頂が高すぎると感じたり、行く道が険しすぎるように思えたりしたときでも、落胆しないようにしましょう。いつもイエスに目を向けましょう。イエスとともにいれば、わたしたちは進んでいけるのです！

言い換えると、わたしにとって、イエスは何者なのか、と問われているのです。大切な人物なのか、よりどころとなる基準なのか、達成不可能な模範なのか。あるいは、わたしの隣を歩いてくださり、自分だけではたどり着けない聖性の頂上へとわたしを導いてくださる神の御子なのか。困難な時でも、自らをイエスに委ねているか。みことばと秘跡をとおして、主の存在を深めているか。兄弟姉妹とともに、共同体の中で、導いていただいているか。道である方の御母である聖マリア、生きておられ、わたしたちのそばにおられる御子を感じることができるよう、助けてください。



マリア様のご受難

グエン・バン・ナン神父

皆さん、四旬節に教会はイエス様のご受難についてよく教えてくださっていますが、マリア様のご受難についてあまり話し合われませんか。実はイエス様が生まれてから十字架の死まで、いつでもどこでもマリア様はともにいて、一緒に苦しみ、イエス様のご受難を分かち合われていました。さて、皆さん、福音ではマリア様の苦しみについて、何回言われているのでしょうか。ご存知ですか。七回であります。

一番目は、マリア様がイエス様を主にささげるため、エルサレムに連れて行った時です。二番目は、ヘロデがイエスを探し出して殺そうしているのです、イエスとマリア様がエジプトに逃げたときです。ご受難の三番目は、少年イエスはエルサレムに残っておられましたが、両親はそれに気づかなかったことです。四番目のご受難は、イエス様が十字架をせおっていた道中、マリア様がイエス様と会ったことです。ご受難の五番目は、イエス様が死ぬ前に、ヨハネを通して、マリア様に教会を託したことです。ご受難の六番目は、弟子がイエスの遺体を十字架から取りおろして、マリア様に受け渡したということです。マリア様の最後のご受難は、イエス様を墓に葬られましたということです。

こうして、マリア様はイエス様と教会の母だけではなく、私たち一人一人の母なのです。これを思い巡らすと、私は自分のことを思い出します。私は生まれた時、大きな病気になりました。お医者様は病気を諦めました。その時、両親は、もし病気を治してくださるなら、マリア様に私をさし上げます、と祈りました。すると、病気が治ったのです。それから、両親は私に何度もこのことを教えてくれました。両親からいつも「ナンくん！あなたは私たちの子だけではなく、マリア様の本当の子です。



ベトナムのサイゴン大教会

マリア様があなたを救ってくださったので、私たちはあなたをマリア様に差し上げました。聖母の良い子になるために、神父になるのが一番良いと思う」と。本当に、マリア様は私たちを心から愛してくださっています。そして、皆さん！お祈りでマリア様に出会って、楽しいことも、嫌なことも分かち合いましょう。

河原町教会トピックス

ライムンド出水 洋助祭 司祭叙階式

3月20日 10:00 から大塚司教様、東京カトリック神学院マルコ神父様、赤堤教会ガブリ神父様、大森教会フィリップ神父様をはじめ、多くの神父様方の参列により当教会出身の出水助祭の司祭叙階式が盛大に執り行われ、ミサ後にはヴィリオンホールにて多くの参加者に囲まれパーティーが開かれました。尚、出水司祭は奈良ブロック担当に任命されました。新司祭のために引き続きお祈り下さい。



叙階の儀



集合写真



式後 主日の河原町初ミサ

洗礼志願式ミサの様子

2月18日 10:30 のミサ中に大塚司教様と瀧野神父様共同司式により洗礼志願式が執り行われました。合わせて村上透磨神父様の一年祭の意向も捧げられました



灰の水曜日ミサ



枝の主日ミサ



聖香油ミサ
3/31 復活祭



主の晩さん



主の受難



復活徹夜祭



四旬節黙想会

3月10日 9時からドミニコ会の米田神父様ご指導のもと四旬節黙想会が行われました。講話は“現代における「甘え」と「沈黙」の喪失”のテーマで寅さんとイエスの場合の比較を交えながら語られました。講話のあと10時からゆるしの秘跡、引き続きミサの司式を担当して頂き、感謝のうちに終了しました。



2024年4月～6月までの主な予定◇(予定は変更になる場合があります)◇

月	日	曜日	行事予定
4	7	日	[復活節第2主日](神のいつくしみの主日) 子ども初聖体 10:30 ミサ中
	14	日	[復活節第3主日]子ども初聖体 1名 10:30 ミサ中
	21	日	[復活節第4主日] 世界召命祈願の日
	28	日	[復活節第5主日]
5	5	日	[復活節第6主日] 世界広報の日(献金)
	12	日	主の昇天(復活節第7週)
	19	日	聖霊降臨の主日
	23	木	河原町カトリック会館&ホテル 竣工祝福式 10時
	26	日	三位一体の主日(年間第8週) ベトナムの聖母への奉献式ミサ 10:30 大塚司教司式
6	2	日	キリストの聖体(年間第9週)
	7	金	イエスのみ心
	9	日	[年間第10主日]
	16	日	[年間第11主日] 京都南部地区合同堅信式 14時
	23	日	[年間第12主日] 聖ペトロ使徒座への献金
	26	水	大塚司教 霊名パウロのミサ 10時
	29	土	聖ペトロ 聖パウロ使徒
	30	日	チェジュ教区交流月間祈願と大塚司教様霊名のお祝いミサ 10:30



4月1日(月)から洛東ブロックは
編成替えて北白川教会が加わり
5教会になりました。



主日ミサ(集会祭儀)の時間

土曜日 18:30

日曜日 7:00、10:30、
12:00(英語・第2第4のみ)

週日ミサの時間

水曜日 9:30

金曜日 10:30

最新の情報はウェブサイト参照

講座の時間(休講の日もあり)

これから洗礼を受けられる方向け

洗礼準備講座

土曜日 11:00(菅原神父)

「キリスト教とは何か」

4/20 新年度スタート

一般向け

キリスト教入門講座

金曜日 19:00(瀧野神父)

「キリスト教の輪郭」

5月10日からスタート

キリスト教入門講座

土曜日 16:00(Sr.テッシー
のチーム)「こころにひかりを」

5月11日からスタート

養成講座(信徒・一般向け)

読書会

遠藤周作「キリストの誕生」

読書会

水曜日 10:00(瀧野神父)

聖書通読会(4/18開講)

木曜日 11:00(菅原神父)

聖書の集い

金曜日 11:00(Sr.テッシー)

聖体顕示式

第3土曜日 15:15(菅原神父)

「ガラテヤ書」を読む

第1土曜日 19:20(菅原神父)

「マルコ福音書」を読む

第2日曜日 11:40(菅原神父)

「これから洗礼を受けられる方
向け」は事務室かrakuto.nyumon.class@gmail.co
m まで事前にご相談ください。

カトリック河原町教会だより 2024.3・4 カトリック河原町教会広報部発行

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423 発行責任者:洛東ブロック司牧チーム

TEL:075-231-4785 FAX:075-211-8021 URL:<http://CatholicKawaramachi.Kyoto>